

- 令和4年度 スポーツ庁委託

令和4年度地域運動部活動推進事業

（中学生年代における大会の在り方に関する調査・実践研究）

成果報告書

令和5年3月

株式会社 野村総合研究所

目次

I.	はじめに.....	1
II.	業務実施内容.....	3
1.	本業務の全体像.....	3
2.	中学生年代の大会に関する意識調査.....	4
2.1.	調査目的.....	4
2.2.	調査方法・概要.....	4
2.3.	調査対象.....	5
2.4.	実施時期.....	5
2.5.	調査項目.....	5
2.6.	調査結果.....	19
3.	運動部活動における大会の在り方見直しの実態に関するヒアリング調査.....	31
3.1.	調査目的.....	31
3.2.	調査方法・概要.....	31
3.3.	調査項目.....	31
3.4.	調査結果.....	34
4.	検討会議の実施.....	37
4.1.	実施目的.....	37
4.2.	実施概要.....	37
4.3.	主な意見.....	37
5.	調査研究のまとめ・今後の検討課題等.....	39
III.	参考資料.....	40

I. はじめに

運動部活動の大会は、中学校等の生徒にとって、日ごろの練習の成果を発揮する貴重な機会を提供し、生徒のスポーツへの意欲を高めるとともに、技能の向上に寄与してきた。

一方で、運動部活動の大会の在り方については、平成 30 年にスポーツ庁から示された「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（以下「運動部活動ガイドライン」という。）」において、「公益財団法人日本中学校体育連盟は、(中略) 学校と連携した地域スポーツクラブの参加などの参加資格の在り方、参加生徒のスポーツ障害・外傷の予防の観点から、大会の規模もしくは日程等の在り方、スポーツボランティア等の外部人材の活用などの運営の在り方に関する見直しを速やかに行う。」こととされた。

また、平成 31 年に中央教育審議会から示された「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（答申）」において、「学校の部活動が参加する大会・コンクール等の主催者においても、(中略) 学校と連携した地域の団体等が大会に参加できるよう、関係規定の見直し等を行うべきである。」「勝利至上主義を助長するような大会等の在り方の見直しを進めることも重要である。」と指摘されている。

こうしたなか、スポーツ庁では、有識者等の参画による「運動部活動の地域移行に関する検討会議（以下「検討会議」という。）」を開催し、段階的な運動部活動の地域への移行に向けて、生徒にふさわしいスポーツ環境整備に係る多様な議論が進められ、令和 4 年 6 月 6 日に「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」がとりまとめられた。

大会の在り方についても提言がなされ、以下のような改革の方向性が示された。

[運動部活動の地域移行に関する検討会議提言：第 6 章 大会の在り方（抜粋）]

***今後の大会の在り方のうち、生徒目線該当部分のみ抜粋]**

（１）地域のスポーツ団体等に所属する生徒の大会参加機会の確保

- 国から大会主催者に対し、参加資格について、学校単位だけでなく、地域のスポーツ団体等の参加も認めることを要請する必要がある。
- ガイドラインを改訂し、令和 5 年度以降は、中体連や各競技団体等の中学校等の生徒を対象とする大会の主催者は、大会参加資格として地域のスポーツ団体等も参加できるようにすることを規定する必要がある。 など

（２）全国大会をはじめとする大会の在り方

- 地域において、自分なりのペースでスポーツに親しみたい生徒や、一つの運動種目だけでなく複数の運動種目のスポーツを経験できる活動に参加している生徒等の成果発表の場としてふさわしい大会の整備を進めるため、国から、JSP0 や各競技団体等に対して、これらの生徒向けの都道府県や市町村単位での大会の開催を要請するとともに、引き続き、一定規模の大会には創設・開催のための支援を行う必要がある。

（３）全国大会の意義についての検討

- 少子化や学校の働き方改革の進展、学校に代わって地域においてスポーツに親しめる環境が整備されていく方向性を踏まえ、スポーツ関係団体等において、中学校等の生徒向けの全国大会は、生徒にとってどのような意義があるのかを改めて議論し、意義が認められる場合にはその意義を踏まえて、生徒にとってふさわしい全国大会の在り方や、適切な大会の運営体制などについて検討する必要がある。
- 全国大会の開催回数は、生徒の心身の負担や保護者による金銭等の負担が過重にならないようにするとともに、学校生活との適切な両立を前提として、運動種目毎に適正な回数に精選するべきである。
- 中学校等の生徒向けの大会の将来的な在り方として、例えば、スポーツに親しむことやスポーツを通じた生徒間の交流等を主目的とした大会や、高い水準の技能や記録に挑む生徒が競い合うことを主目的とした大会などの多様な大会が開催され、生徒や地

域のスポーツ団体等が自分たちにとってふさわしい場を選択できるようにしていくことが考えられる。 など

(4) 大会に参加する生徒の安全確保

- 中学校等の生徒向けの大会の開催時期について、夏季であれば空調設備の整った施設を会場として確保することや、そのような環境を確保できない場合には夏の時期を避けるよう要請する必要がある。
- 夏季以外の季節であっても気温や湿度の高い日が少なくないことから、国から JSPO や各競技団体、日本中体連等に対して、各運動種目の特性等を踏まえ、中学校等の生徒向けの大会開催が可能な環境基準として、例えば、気温や湿度、暑さ指数（WBGT）等の客観的な数値を示すよう要請する必要がある。
- 国から、JSPO や各競技団体、日本中体連等に対して、天候不順等により大会日程が過密になった場合は、大会を最後まで実施することだけにこだわらず、試合数を減らしたり、大会を途中で打ち切ったりするなど、生徒の体調管理を最優先にすることを要請する必要がある。 など

こうした改革の方向性を踏まえ、大会の在り方の見直し等について、令和4年7月26日にスポーツ庁長官から JSPO や日本中体連等へ要請するとともに、同年12月27日に新たに「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定した。

これらを踏まえ、今後、大会の在り方について、国はもとより、日本スポーツ協会や各競技団体、中体連等の関係者において、検討することが求められている。

一方、弊社では平成30年度以降、スポーツ庁の委託を受けつつ、大会の在り方を含む運動部活動の改革に向けて、類似の調査研究を実施してきた。

そのなかでは、大会に係る各種要項等の調査や、主催団体への聴き取り調査、さらには地方の中体連専門部長や部活動顧問等を対象とした情報照会調査などを進めてきた。しかしながら、“中学生年代の生徒”を対象とした意識等の実態把握は、ひとつの重要な残存課題である。

もとより部活動改革には、“生徒ファースト”の視点が重要である。すなわち、我が国の生徒が、将来にわたる豊かなスポーツライフを主体的に実現する基盤としての環境が枯渇してしまうという危機感と、前例・慣行的でなく、現在はもとより、未来の生徒ファーストでの取組が教師をはじめとする大人の責務であるという意識を有し、抜本的な大会改革を進めることが望まれる。

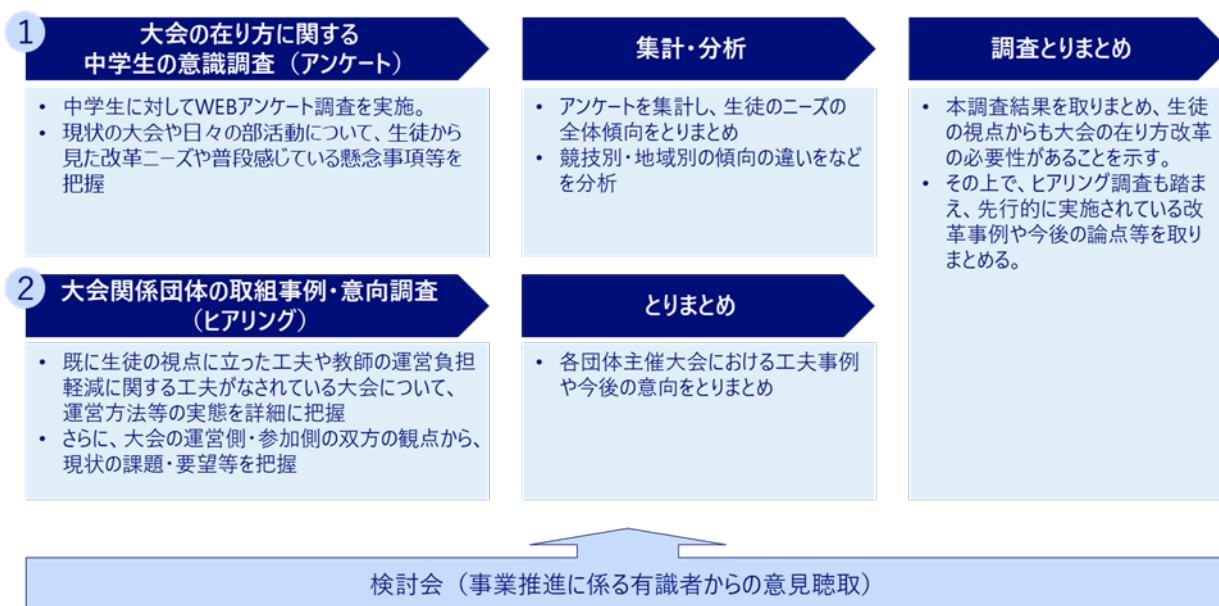
そこで、本事業では、あらためて生徒目線に立ち、『中学生年代の生徒等の大会に関する意識の把握』や、『生徒の視点に立った大会見直しの工夫を既に進めている主催団体等の事例把握』などを実施することで、全国・地方大会の在り方、持続可能な大会運営の方策の検討に資する研究を進めることとする。

II. 業務実施内容

1. 本業務の全体像

本事業では、“生徒の視点に立った”大会の在り方の検討を推進するため、生徒のニーズを把握するためのアンケート調査を実施した。加えて、運動部活動の地域移行に関する検討会議で主に議論された観点について、先行的に改革が進められている事例やそれに係る課題を把握するためのヒアリング調査を実施した。調査の全体像を図表 1-1 に示す。

図表 1-1 本調査の全体像



アンケート調査においては、対象自治体の中学生に対して WEB アンケート（任意）を実施し、大会の在り方見直しならびに日々の運動部活動の実態や意向を把握した。

ヒアリング調査においては、大会の運営側・参加側の双方の観点から関係団体に対してオンラインまたは対面でのヒアリングを実施し、現状の改革状況や課題・ニーズなどを詳細に聞き取った。

その上で、「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」、「運動部活動ガイドライン」、「働き方改革を踏まえた部活動改革」、ならびに上記の調査結果を踏まえ、改革の主要な観点のひとつである「大会の在り方（検討会議提言第6章）」について、有識者による「中学生年代の大会の在り方に関する研究委託事業検討会議」を開催し、関係各位による検討や論点整理を支援するための報告書を取りまとめた。

2. 中学生年代の大会に関する意識調査

2.1. 調査目的

段階的な運動部活動の地域移行に合わせて、大会の在り方も議論・検討される必要がある。

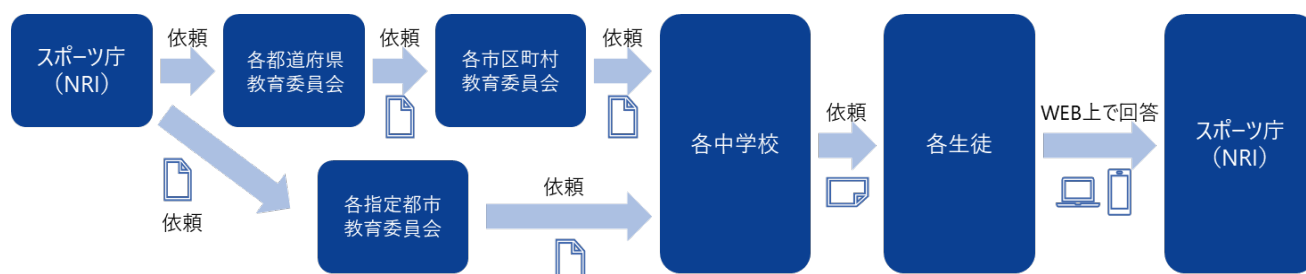
特に子供の視点に立った大会の在り方を検討するために、これまであまり調査されてこなかった生徒の意向を把握する。

2.2. 調査方法・概要

WEB アンケート方式

協力いただいた都道府県、指定都市教育委員会を経由してアンケートフォームの URL と QR コードを配布し、生徒自身がスマートフォンやパソコンからアクセスし、回答。

図表 2-1 アンケート依頼の流れ



2.3. 調査対象

主に令和3年度及び令和4年度 地域運動部活動推進事業の実践研究先自治体の公立中学校に通う中学1～3年生を対象とした。

(協力自治体数：126)

2.4. 実施時期

2022年12月～2023年1月

2.5. 調査項目

主に以下の3つの項目について把握できるように設問項目を設計した。

設問内容については図表 2-2 に示す。

- 回答者の属性※（学年・性別・都道府県／市区町村・所属部活動等）
- 日々の運動部活動に関する中学生の実態・意向（種目、部員数、活動日、練習時間 等）
- 大会に関する中学生の実態・意向（大会への参加率、引率者属性、大会に対するニーズ 等）

※回答者が特定できる個人情報は取得していない

図表 2-2 アンケート調査票



スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

主催：スポーツ庁地域スポーツ課（委託先：株式会社野村総合研究所）

令和4年度人会の在り方に関する中学生向けアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

ⓘ アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

ⓘ 回答環境によって、回答結果が正しく送信できない場合がございます。
アンケート回答の動作環境は「こちら」

Q1 3%

あなたの学年を教えてください。

⓪ 単一回答 ★ 必須回答

① 中学校1年生

② 中学校2年生

③ 中学校3年生

Q2

あなたの性別を教えてください。

6%

Ⓐ 単一回答

★ 必須回答

① 男

② 女

Q3

あなたの学校の都道府県を教えてください。

10%

Ⓐ 単一回答

★ 必須回答

以下を選択

▼

Q4

あなたの学校の市区町村を教えてください。

13%

Ⓐ 単一回答

★ 必須回答

以下を選択

▼

※システム上、1問に表示できる選択数の上限により、Q5, 6, 7については表示されていない。

Q8

あなたの現在の運動部活動との関わり方について、最も近いものを選んでください。
注) 中学校に入学してから運動部活動について教えてください。

27%

Ⓐ 単一回答

★ 必須回答

↑ とじる

☐ 1. 1つの運動部に入っている

☐ 2. 2つ以上の運動部に入っている(兼部している)

☐ 3. 運動部をすでに引退した

☐ 4. 運動部を退部した

☐ 5. 運動部には入ったことがないが、これから入る予定である

☐ 6. 運動部には入ったことはなく、今後も入るつもりはない(部活動以外の地域のスポーツクラブなどに入っているため)

☐ 7. 運動部には入ったことはなく、今後も入るつもりはない(6以外の理由のため)

Q9

31%

運動部を退部した理由を教えてください。

注) 当てはまるものを全て選択してください。

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

- 1 けがをしてしまったため
- 2 勉強をするため
- 3 地域のスポーツクラブなどに移籍したため
- 4 廃部になってしまったため
- 5 練習がつまらなかったため
- 6 試合に出場できなかったため
- 7 休日がなくなってしまったため
- 8 その他 (必須入力)

Q10

34%

あなたは現在、部活動以外で地域のスポーツクラブやスクールなどに入っていますか？

注) 運動部活動以外で何かスポーツチームなどに入って活動している場合は1を選択してください。

○ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 入っている
- ② 入っていない

Q11

37%

あなたが今通っている学校には、入りたかった競技の運動部がありましたか？

注) 入部した／しないにかかわらず、やりたい競技の運動部があった場合は1を選んでください。

○ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 入学時にあった
- ② 入学時にあったが、在学中になくなってしまった
- ③ 入学時になく、その後もない
- ④ 入学時にはなかったが、途中でやりたい競技の運動部ができた
- ⑤ もともとやりたい運動競技が無かった (もともと運動部活動することを希望していなかった)
- ⑥ その他 (必須入力)

Q12

41%

あなたは、何部に所属していますか？（所属していましたか？）

注）2つ以上の部（競技）に入っている場合は、一番力を入れている競技を選んでください。

注）既に運動部を引退・退部している人は、これまでに一番力を入れていた競技を選んでください。

○ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

☐ ① 陸上競技☐ ② 水泳競技☐ ③ バスケットボール☐ ④ サッカー☐ ⑤ ハンドボール☐ ⑥ 軟式野球☐ ⑦ 体操競技☐ ⑧ 新体操☐ ⑨ バレーボール☐ ⑩ ソフトテニス☐ ⑪ 卓球☐ ⑫ バドミントン☐ ⑬ ソフトボール☐ ⑭ 柔道☐ ⑮ 剣道☐ ⑯ 相撲☐ ⑰ スキー☐ ⑱ スケート☐ ⑲ アイスホッケー☐ ⑳ その他

Q13

部員数は全学年合計で何人くらいですか？（何人くらいでしたか？）

注）Q.12で選んだ競技の部活動【Q12の選択内容】について教えてください。

注）今年度、上記の部活動に所属している人は、今年度部員数が最も多かった時の、人数を教えてください。

注）今年度、上記の部活動に所属していない人は、所属時に部員数が最も多かった時の、人数を教えてください。

⊙ 単一回答 ★ 必須回答

とじる

- ① 5人以下
- ② 6人～10人
- ③ 11人～20人
- ④ 21人～30人
- ⑤ 31人～40人
- ⑥ 41人以上

Q14

48%

夏休みやテスト・考査期間などを除く普段の学期中で、部活動が休みの主な曜日（休みだった主な曜日）を教えてください。

注）Q.12で選んだ競技の部活動【Q12の選択内容】について教えてください。

注）この質問では大会や試合、自主練習などは含めずに教えてください。

注）個人的な理由で休んだ曜日ではなく、所属していた部活動自体が休みだった曜日を選んでください。

注）当てはまるものを全て選択してください。

✓ 複数回答 ★ 必須回答

とじる

- 1 毎週月曜日
- 2 月曜日（隔週、月1など）
- 3 毎週火曜日
- 4 火曜日（隔週、月1など）
- 5 毎週水曜日
- 6 水曜日（隔週、月1など）
- 7 毎週木曜日
- 8 木曜日（隔週、月1など）
- 9 毎週金曜日
- 10 金曜日（隔週、月1など）
- 11 毎週土曜日
- 12 土曜日（隔週、月1など）
- 13 毎週日曜日
- 14 日曜日（隔週、月1など）
- 15 休みの曜日はない

Q15

51%

平日(夏休みなどは含めない)の1日あたりの練習時間はどれくらいですか？(どれくらいでしたか？)

注) Q.12で選んだ競技の部活動【Q12の選択内容】について教えてください。

注) 自主練習は含めずに教えてください。

⊙ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

① 4時間以上

② 3時間くらい

③ 2時間くらい

④ 1時間くらい

⑤ 1時間未満

Q16

55%

休日(夏休みなども含む)の1日あたりの練習時間はどれくらいですか？(どれくらいでしたか？)

注) Q.12で選んだ競技の部活動【Q12の選択内容】について教えてください。

注) 自主練習は含めずに教えてください。

⊙ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

① 4時間以上

② 3時間くらい

③ 2時間くらい

④ 1時間くらい

⑤ 1時間未満

Q17

58%

平日(夏休みなどは含めない)の部活動の練習にはどれくらい参加していますか？(参加していましたか？)

また、休日(夏休みなども含む)の部活動の練習にはどれくらい参加していますか？(参加していましたか？)

それぞれについてお答えください。

注) Q.12で選んだ競技の部活動【Q12の選択内容】について答えてください。

◎ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

0/2

¹ 平日(夏休みなどは含めない)

- ① 毎回参加している(していた) (9割以上)
- ② だいたい参加している(していた) (7-8割程度)
- ③ 半分くらい参加している(していた) (4-6割程度)
- ④ あまり参加していない(していなかった) (2-3割程度)
- ⑤ ほとんど参加していない(していなかった) (1割以下)

² 休日(夏休みなども含む)

- ① 毎回参加している(していた) (9割以上)
- ② だいたい参加している(していた) (7-8割程度)
- ③ 半分くらい参加している(していた) (4-6割程度)
- ④ あまり参加していない(していなかった) (2-3割程度)
- ⑤ ほとんど参加していない(していなかった) (1割以下)

Q18

62%

普段の練習日数について、どのように感じていますか？(感じていましたか？)

注) Q.12で選んだ競技の部活動【Q12の選択内容】について答えてください。

◎ 単一回答

★ 必須回答

↓ とじる

- ① 多いと感じる(感じていた)
- ② どちらかというと多いと感じる(感じていた)
- ③ ちょうどよいと感じる(感じていた)
- ④ どちらかというと少ないと感じる(感じていた)
- ⑤ 少ないと感じる(感じていた)

Q19

65%

平日（夏休みなどは含めない）の1日あたりの練習時間について、どのように感じていますか？（感じていましたか）

また、休日（夏休みなども含む）の1日あたりの練習時間について、どのように感じていますか？（感じていましたか）

それぞれについてお答えください。

⊙ 単一回答 ★ 必須回答

▲ とじる

0/2

¹ 平日（夏休みなどは含めない） ▲

- ① 長いと感じる（感じていた）
- ② どちらかというと長いと感じる（感じていた）
- ③ ちょうどよいと感じる（感じていた）
- ④ どちらかというと短いと感じる（感じていた）
- ⑤ 短いと感じる（感じていた）

² 休日（夏休みなども含む） ▲

- ① 長いと感じる（感じていた）
- ② どちらかというと長いと感じる（感じていた）
- ③ ちょうどよいと感じる（感じていた）
- ④ どちらかというと短いと感じる（感じていた）
- ⑤ 短いと感じる（感じていた）

Q20

68%

技術指導する先生（顧問や学校の先生）の指導レベルについてどのように感じていますか？
（感じていましたか？）

注）Q.12で選んだ競技の部活動【Q12の選択内容】について答えてください。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 満足している（していた）
- ② ある程度満足している（していた）
- ③ あまり満足していない（していなかった）
- ④ 満足していない（していなかった）

Q21

72%

1つの競技だけでなく、いろいろな競技を経験してみたいと思いますか？

注）部活動だけでなく、学校以外の地域のスポーツクラブなどで経験する場合も含めて答えてください。

① 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① そう思う
- ② どちらかというと思う
- ③ どちらかというと思わない
- ④ そう思わない

Q22

75%

昨年度（令和3年4月～令和4年3月まで）で、合計何日くらい大会や試合に行きましたか？

注）Q.12で選んだ競技の部活動【Q12の選択内容】について教えてください。

注）大会や試合には、公式大会や記録会、交流戦などを含みます。（練習試合は含みません）

注）試合に出場していなくとも、部員として大会や試合に行った日は全て含めてください。
（応援も含みます）

◎ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 0日（大会や試合には行っていない）
- ② 1～5日
- ③ 6～10日
- ④ 11～20日
- ⑤ 21～30日
- ⑥ 31～40日
- ⑦ 41日以上
- ⑧ 昨年度は【バレーボール】部には所属していなかった

Q23

79%

前問(Q.22)で回答した大会や試合について、どのくらい試合に出場していましたか？

◎ 単一回答

★ 必須回答

- ① ほとんどの試合に出場した（7割以上）
- ② 時々試合に出場した（3～6割程度）
- ③ あまり試合には出場しなかった（2割以下）
- ④ 全く出場しなかった（0回）

Q24

82%

前々問(Q.22)で回答した大会や試合について、学校の先生「以外」の指導者が引率した大会や試合はどれくらいありましたか？

Ⓐ 単一回答

★ 必須回答

とじる

- ① 全て学校の先生以外が引率した（10割）
- ② ほとんど学校の先生以外が引率した（7－9割程度）
- ③ 時々学校の先生が引率した（3－6割程度）
- ④ ほとんど学校の先生が引率した（1－2割程度）
- ⑤ 全て学校の先生が引率した（0割）

Q25

86%

学校の先生「以外」の指導者が大会や試合の引率をすることについて、どのように感じますか？

Ⓐ 単一回答

★ 必須回答

とじる

- ① 学校の先生以外の指導者に引率してもらいたい
- ② 学校の先生以外の指導者が引率することに不安を感じる
- ③ 学校の先生に引率してもらいたい
- ④ どちらでもよい

Q26

89%

これまでに休日（土日祝 | 夏休みなどは含めない）に大会や試合が多くて、からだを休めることができないなど、負担を感じたことがありますか？

注）大会や試合には、公式大会や記録会、交流戦などを含みます。（練習試合は含みません）

Ⓐ 単一回答

★ 必須回答

とじる

- ① 何度もあった
- ② 時々あった
- ③ ほとんどなかった
- ④ 全くなかった

Q27

93%

あなたの部活動の目標として近いものは何ですか？（何でしたか？）

注）当てはまるものを全て選択してください。

✓ 複数回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ☐ 1 全国大会の優勝
- ☐ 2 全国大会への出場
- ☐ 3 ブロック大会への出場（例）関東大会、近畿大会など
- ☐ 4 都道府県大会への出場
- ☐ 5 市区町村大会への出場
- ☐ 6 競技を楽しむこと
- ☐ 7 仲間とともに思い出を作ること
- ☐ 8 技術の習得・向上
- ☐ 9 その他
- ☐ 10 特に目標はない

Q28

96%

部活動の全国大会について、あなたの考えに一番近いものはどれですか？

⓪ 単一回答 ★ 必須回答

- ① 全国大会は必要だと思う
- ② 全国大会はなくても、ブロック大会があれば十分だと思う（例）関東大会、近畿大会など
- ③ 全国大会はなくても、都道府県大会があれば十分だと思う
- ④ 全国大会はなくても、市区町村大会があれば十分だと思う
- ⑤ わからない

Q29

100%

以下のような大会や試合があった場合、参加してみたいものはありますか？

注）当てはまるものを全て選択してください。

✓ 複数回答 ★ 必須回答

▲ とじる

- 1 順位にこだわらず、純粋にそのスポーツを楽しむことを目的とした大会や試合
- 2 他の学校の生徒との交流を目的とした大会や試合
- 3 地域のスポーツクラブなどに所属する多年代の人との交流を目的とした大会や試合
- 4 性別で分けない大会や試合
- 5 フットサルやバスケットボールの3 on3など、これまでの部活動の大会にはない競技の大会や試合
- 6 参加したい大会はない

2.6. 調査結果

2.6.1. 回答者属性

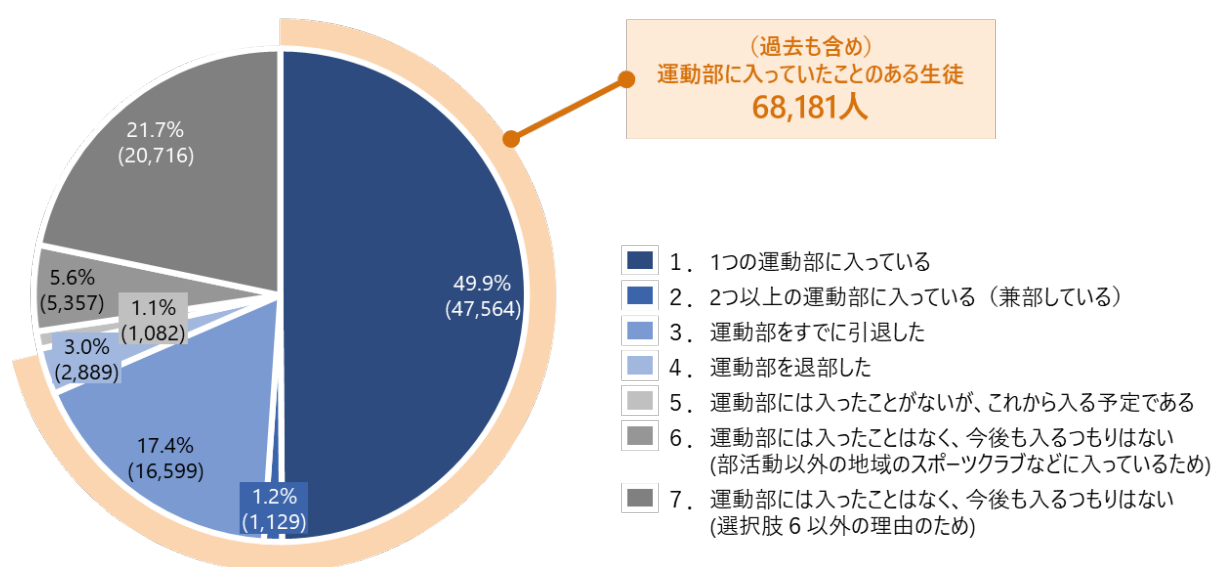
- 全回答数は 95,336 件、うち、運動部に所属している（いた）生徒の回答数は 68,181 件であった。（図表 2-3）
- 学年別にはおよそ 1/3 ずつ、性別は約半数ずつの回答を得た。（図表 2-4）
- 競技別には中体連加盟人数が多い競技の多くで 400 以上の回答を得た。（図表 2-5）

※都道府県内訳については、域内の令和 4 年度地域運動部活動推進事業の実践研究先自治体数により回答数に差が出ていることに留意（図表 2-6）

図表 2-3 全回答者の運動部活動とのかかわり方

運動部とのかかわり方

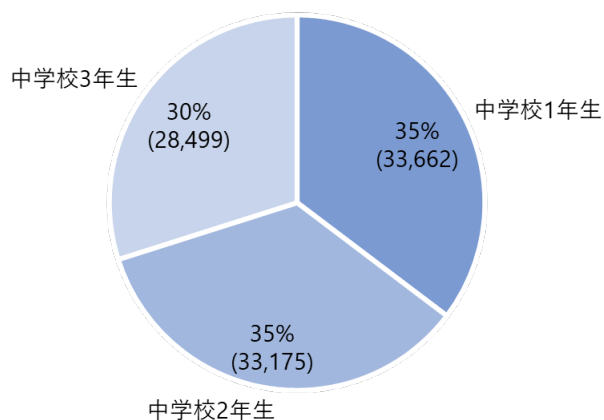
(n=95,336)



図表 2-4 回答者の学年/性別内訳

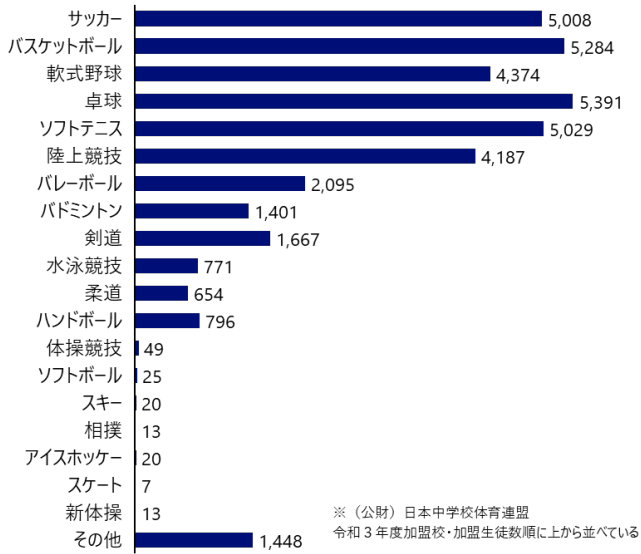
回答者学年

(n=95,336)



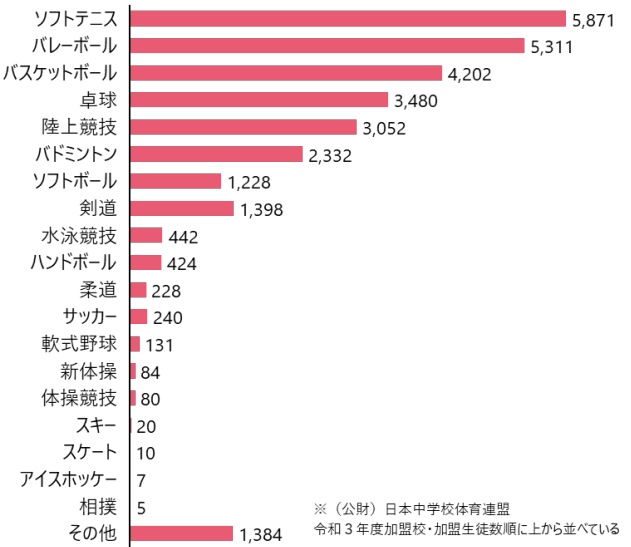
図表 2-5 回答者の競技別内訳

競技別回答数（男子）



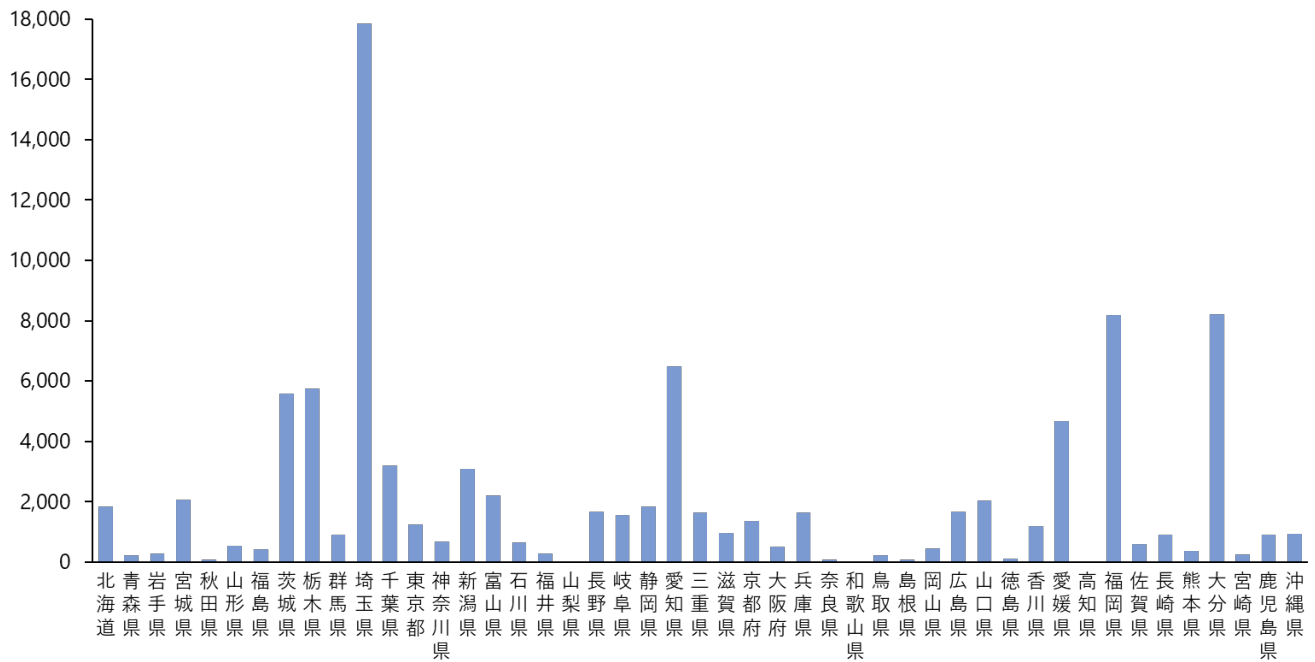
※（公財）日本中学校体育連盟
令和3年度加盟校・加盟生徒数順に上から並べている

競技別回答数（女子）



※（公財）日本中学校体育連盟
令和3年度加盟校・加盟生徒数順に上から並べている

図表 2-6 回答者の都道府県内訳



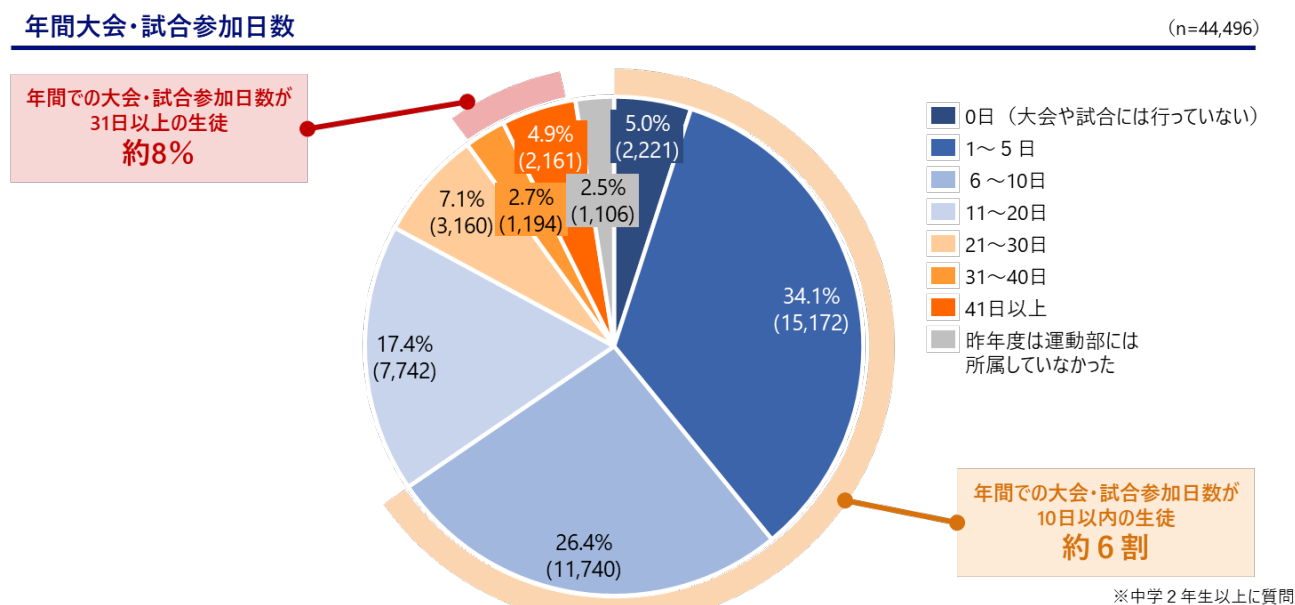
2.6.2. 大会・試合に関する中学生の実態・意向

1) 大会・試合参加

- 大会・試合参加日数は10日以内が全体の約65%。ただし、30日以上参加している生徒も約8%存在した。(図表 2-7)
- 大会・試合に参加しながら、6割以下の出場にとどまった生徒は約35%であった。(図表 2-8)
- 大会・試合の参加日数が多く、身体に負担を感じたことが何度も/時々あった生徒は全体の約40%であった。(図表 2-9)

さらに、昨年度に大会・試合に参加した生徒について、参加日数が多い生徒ほど身体に負担を感じる生徒が多い傾向にあった。(図表 2-10)

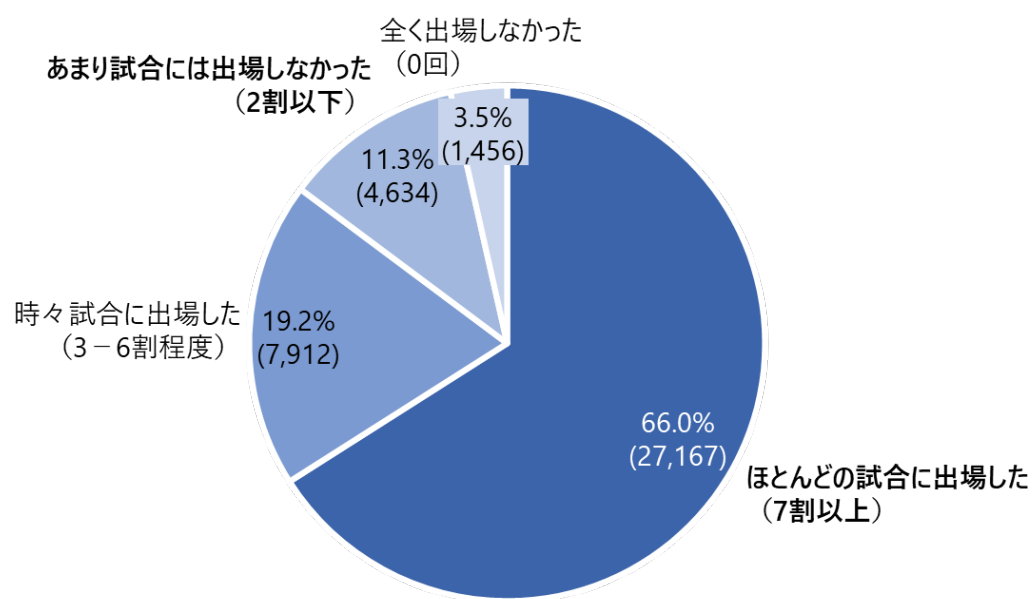
図表 2-7 年間大会・試合参加日数



図表 2-8 年間大会・試合出場割合

年間大会・試合出場割合

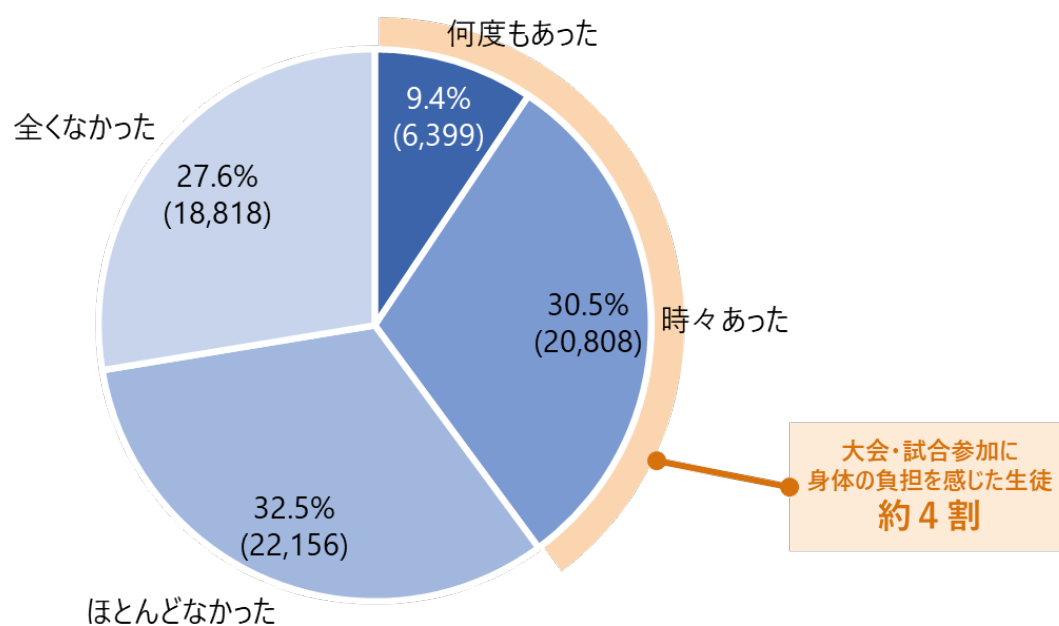
(n=41,169)



図表 2-9 大会・試合参加によって負担を感じた頻度

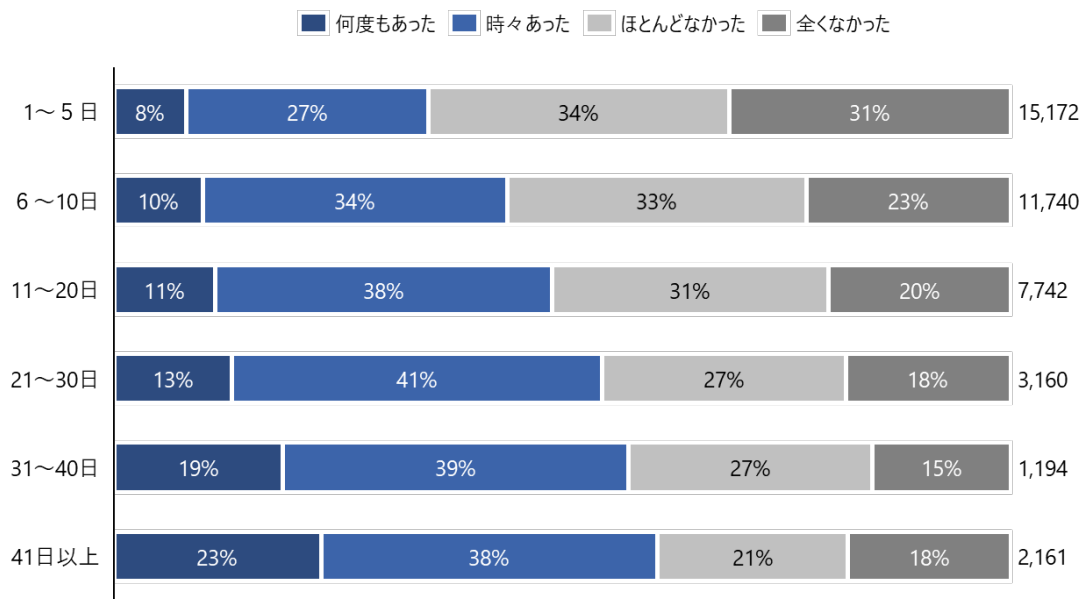
大会・試合参加によって負担を感じた頻度

(n=68,181)



図表 2-10 大会・試合参加によって負担を感じた頻度（大会・試合参加日数別）

大会・試合参加によって負担を感じた頻度（大会・試合参加日数別）



※昨年度に大会・試合に参加した生徒のみに限定して集計

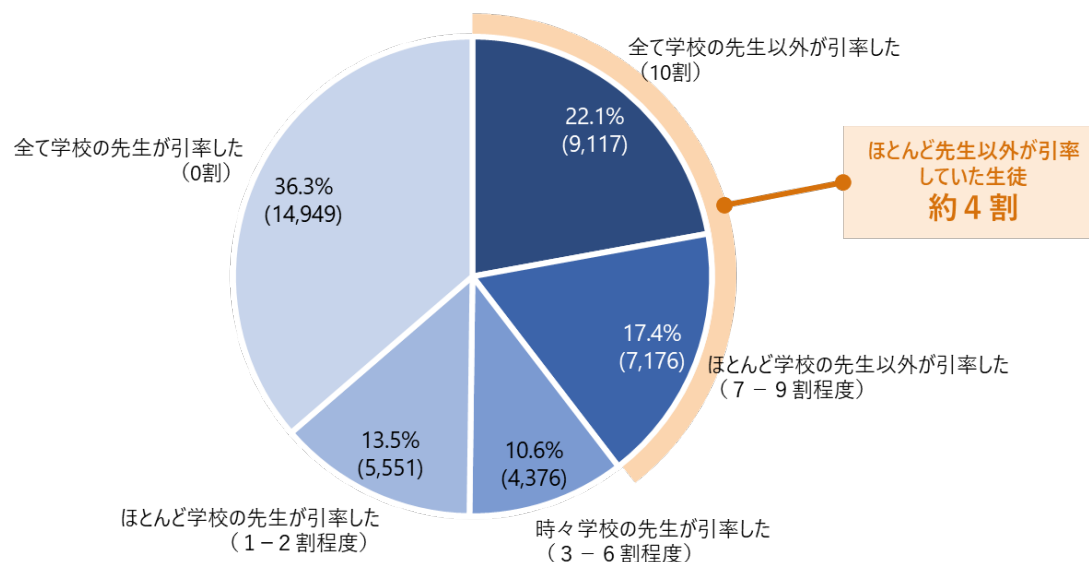
2) 大会・試合引率

- 現状でも教師以外が引率している例も多くあり、ほとんどの大会・試合で教師以外が引率したと答えた生徒は約4割存在した。(図表 2-11)
- 教師以外が大会・試合の引率することに抵抗のない生徒は全体の約8割であった。(図表 2-12)

図表 2-11 学校の先生が引率をしている割合

学校の先生が引率をしている割合

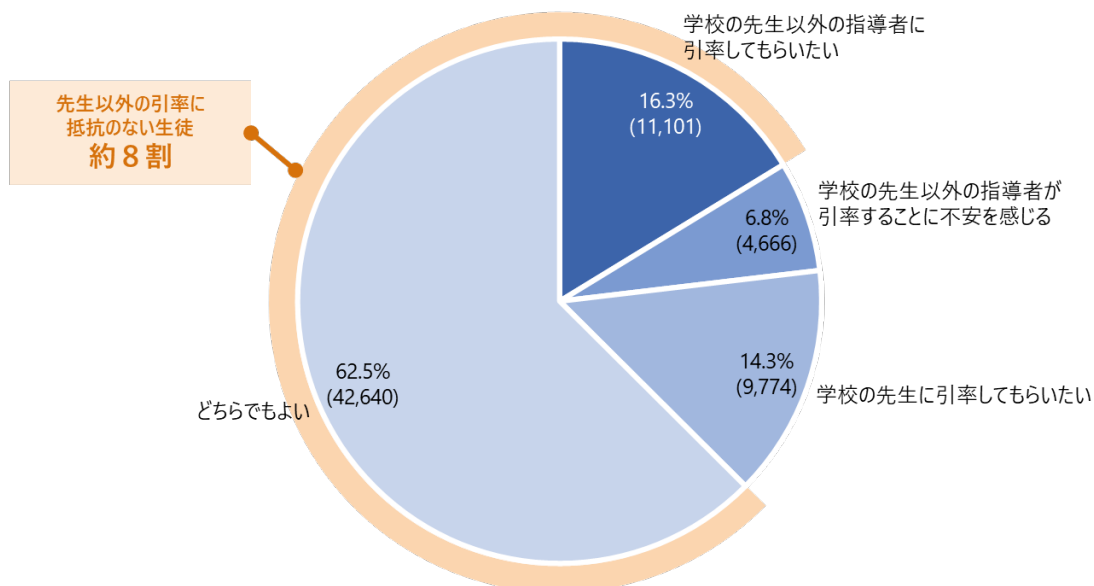
(n=41,169)



図表 2-12 学校の先生以外の引率に対する意向

学校の先生以外の引率に対する意向

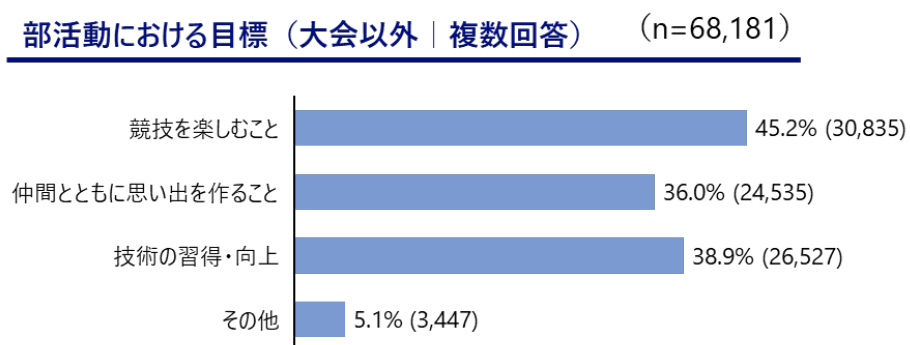
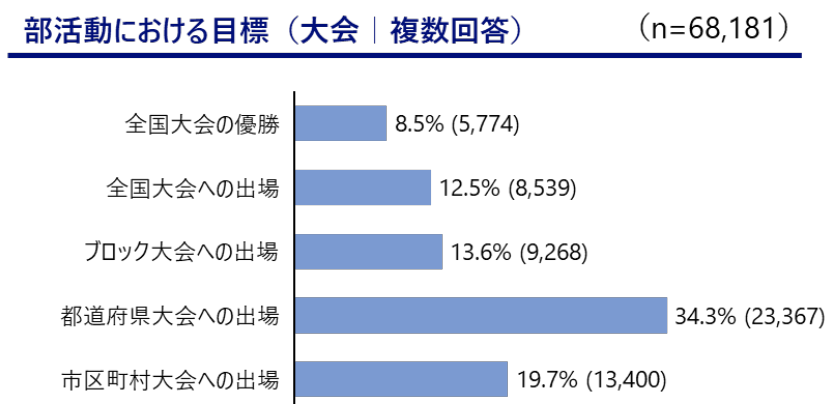
(n=68,181)



3) 部活動における目標

- 部活動の目標として、全国大会以上を目指していると答えた生徒は約2割であった。(図表 2-13)
- 「競技を楽しむこと」と回答した生徒が最も多く、全体の約45%であった。(図表 2-13)

図表 2-13 部活動における目標



※部活動における目標については、大会/大会以外の目標の選択肢を同一設問でまとめて把握したことに留意。回答結果は参考資料 Q.27 参照

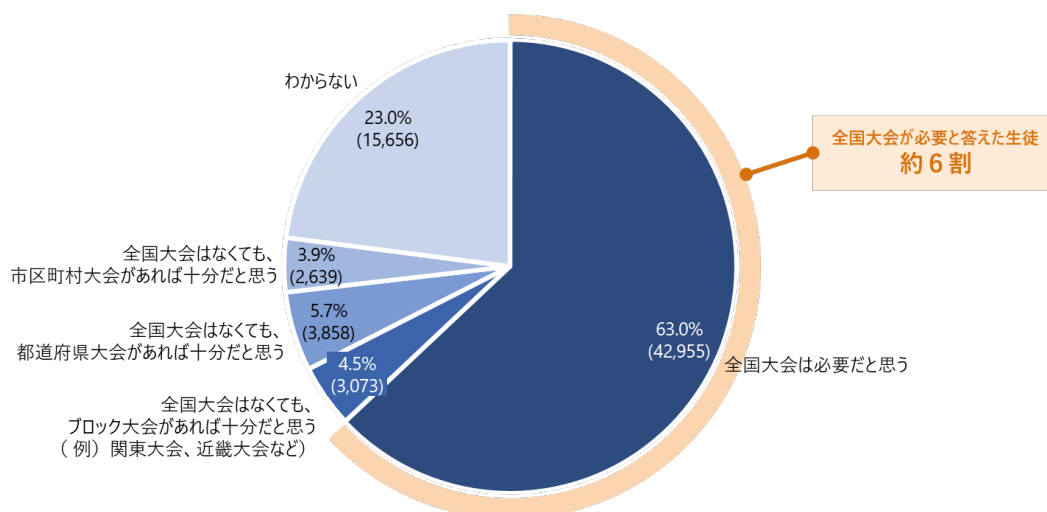
4) 生徒が必要とする大会・試合

- ・ 全国大会以上を目指している生徒に限らず、「全国大会は必要だと思う」と考えている生徒は、全体の約6割であった。(図表 2-14)
- ・ 全国大会以外にも「順位にこだわらず、純粋にそのスポーツを楽しむことを目的とした大会や試合」も、全国大会と同程度に生徒に求められている。(図表 2-15)
- ・ 「他校の生徒との交流を目的とした大会や試合」なども、約5割の生徒に求められている。(図表 2-15)

図表 2-14 全国大会の必要性

全国大会の必要性

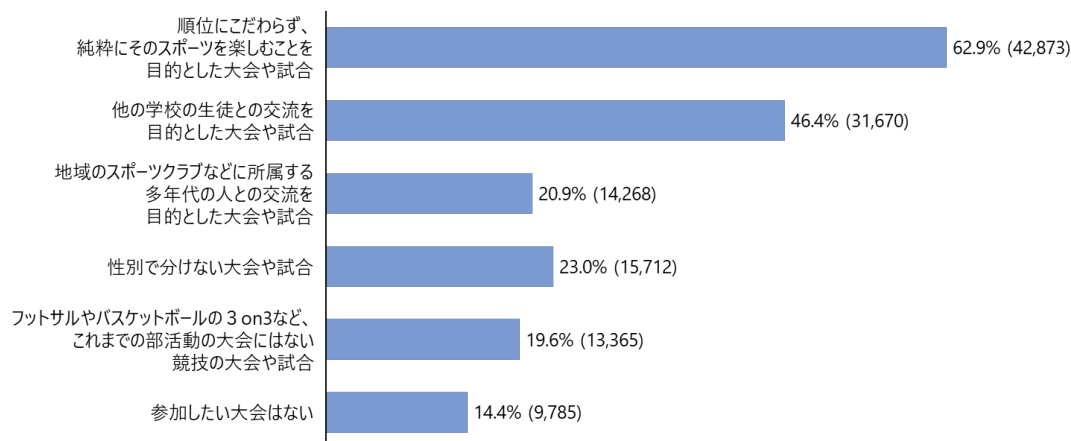
(n=68,181)



図表 2-15 参加してみたい大会・試合

参加してみたい大会 (複数回答)

(n=68,181)

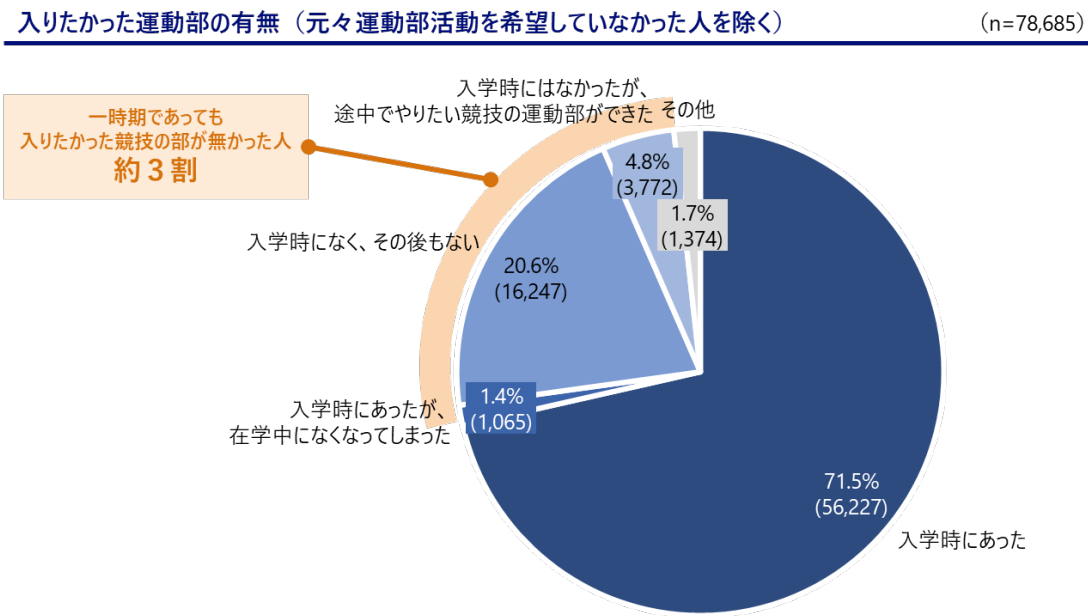


2.6.3. 日々の運動部活動に関する中学生の実態・意向

1) 入りたかった部活の有無

- 運動部に入りたかった生徒の中で、入学後一時期であっても、入りたかった競技の部が無かった生徒は約3割であった。(図表 2-16)

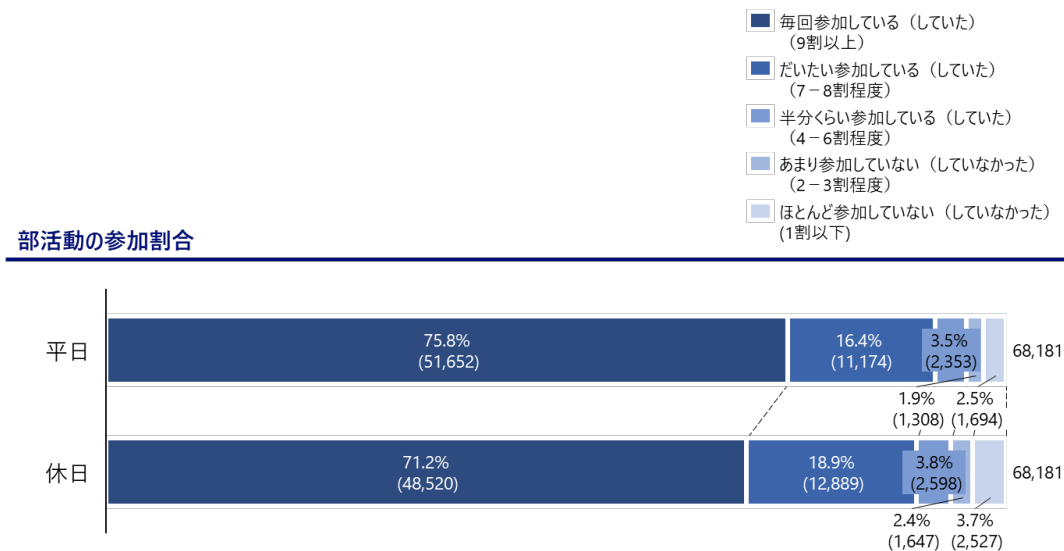
図表 2-16 入りたかった運動部の有無



2) 練習日数

- 練習にほぼ毎回参加（9割以上）する生徒は、平日・休日それぞれで全体の7割以上を占める。(図表 2-17)
- 普段の練習日数を多いと感じている生徒は約3割であった。(図表 2-18)

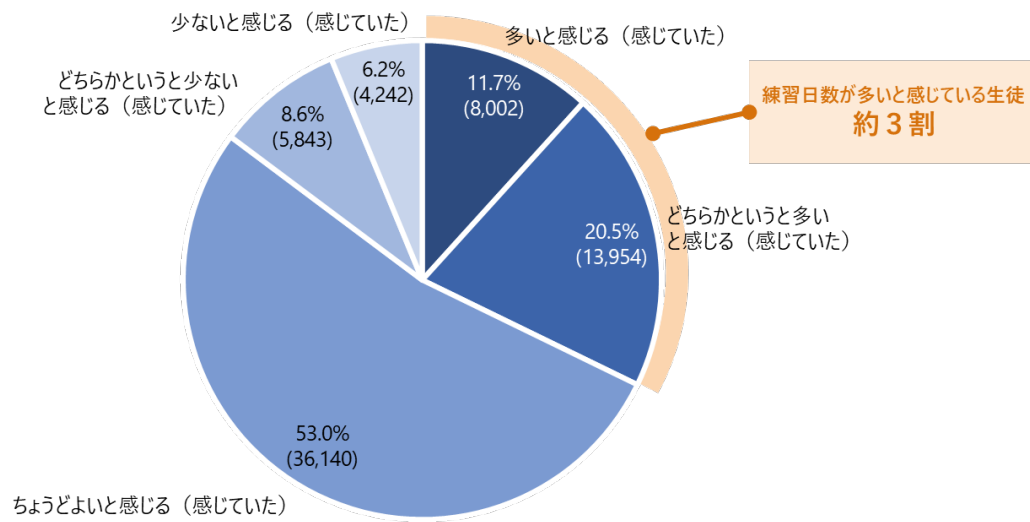
図表 2-17 部活動の参加割合



図表 2-18 練習日数に対する負担

練習日数に対する負担

(n=68,181)

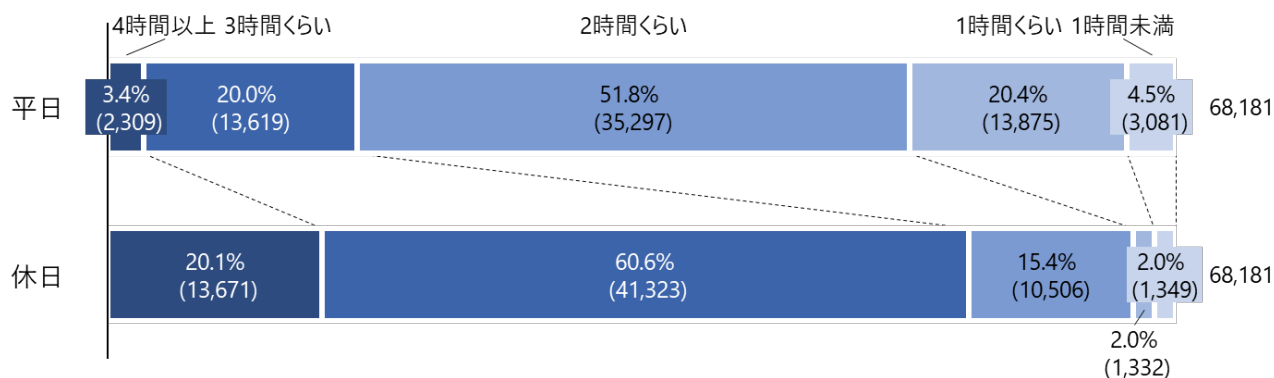


3) 練習時間

- 平日の平均練習時間は2時間程度が最も多く、休日は3時間程度が最も多い。(図表 2-19)
- 普段の練習時間を長いと感じている生徒は約3割で、ちょうどよいと感じている生徒は約半数であった。(図表 2-20)

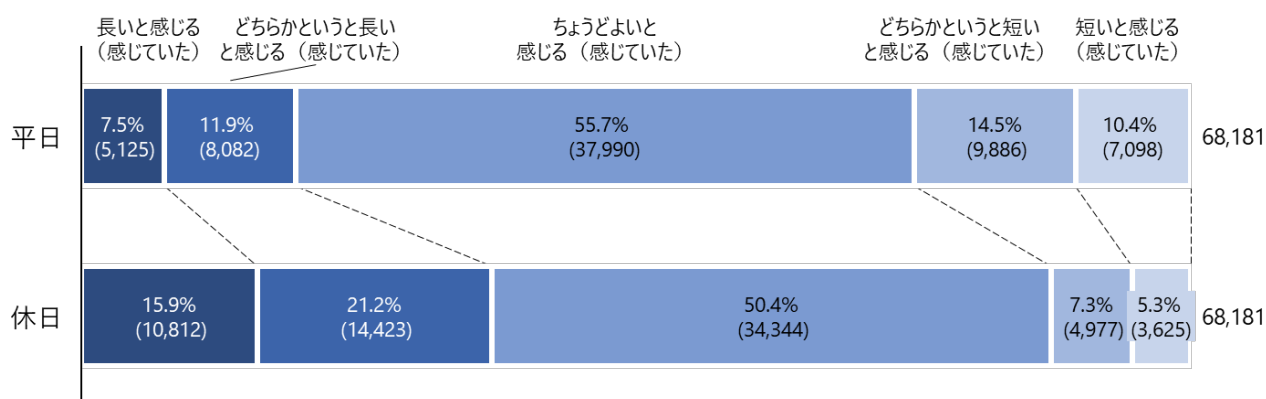
図表 2-19 1日当たりの練習時間

1日当たりの練習時間



図表 2-20 1日当たりの練習時間に対する負担

1日当たりの練習時間に対する負担



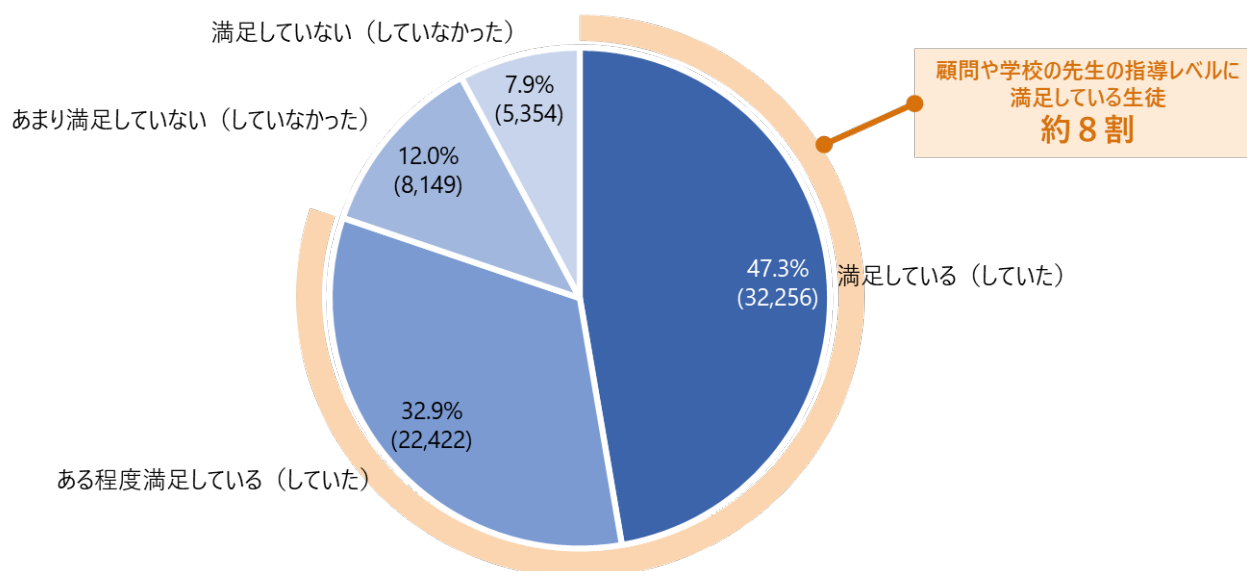
4) 技術指導への満足度

- 顧問または教師の技術指導については、全体の約 8 割が満足している。(図表 2-21)
※ただし、技術指導者に、顧問または教師以外の属性の者（外部指導者やボランティア等）が含まれている可能性に留意

図表 2-21 技術指導する先生（顧問または学校の先生）の指導レベルに対する満足度

顧問や学校の先生の指導レベルに対する満足度

(n=68,181)



5) 複数競技実施への興味

- 全体の約 7 割の生徒が複数競技を実施することに興味を持っている。(図表 2-22)

図表 2-22 複数競技実施への興味

複数競技実施への興味

(n=95,336)

